

エピソード22

保護者は子どもが卒業式に
出席するのを願っています



なみちゃん

小学校教師として25年以上の経験
があります。エデュサポネットのファ
シリテーターです。



小学校の担任をしていた時の経験を聞かせていただきます。

6年生のかおりさんは対人不安が強く、5年生の連休明けから教室に入れなくなり、ずっと保健室登校をしていました。

放課後、誰もいなくなった教室を、かおりさんがのぞいている姿を何度も目にして、僕は心を痛めていました。





その後、どのようなことがあったのですか。

卒業式が近づいて、かおりさんの保護者は出席してほしいと希望していました。

でも、かおりさんは不安が高まっていて、卒業証書をもらうためにステージに上がり、みんなに見られるのが嫌だと言っていました。





そんなかおりさんに、先生は
どのような対応をしたのですか。

「卒業式の練習に出てみないかい」と声を
かけました。かおりさんは、式場の後ろで
みんなの様子をじっと見ていました。

保健室では、卒業証書の受け取り方を
養護教諭と練習したそうです。





卒業式の前日の様子を教えてください。

かおりさんは3時過ぎに登校し、会場を確認しました。僕は、3つのパターンをかおりさんと保護者に提案しました。

1. みんなと同じに登校し式に出席
2. 保健室で式の中継を見てリモート出席
3. 登校時間をずらして途中から出席





いよいよ卒業式の当日、
かおりさんはどうしたのでしょうか。

証書授与が始まるころ、養護教諭から
「これから来るそうです」と耳打ちされ
あきらめていた僕は、本当かと思いました。

かおりさんが、養護教諭の後ろについて
式場に入ってきて、座席に着席しました。





卒業式のかおりさんの様子は
どうだったのでしょうか。

かおりさんの番になって名前を呼ぶと、
立派に「はい」と応えました。会場の
後ろにいた保護者にも聞こえる声でした。

そして、落ち着いて証書を受け取り、
式が終わった後は、みんなと一緒に
久しぶりの教室へ向かいました。





立派に式を終えたのですね。
かおりさんの保護者の様子はどうでしたか。

保護者は帰るとき、養護教諭と私に
「式には出られないと思っていたのに、
どうして式場に行けたのですか。先生、
なんて言ったのですか」と聞きました。

養護教諭が「かおりさんが、行けるって
言ったんですよ」と教えてくれました。





先生はどう話したのですか。
お母さんの様子はどうでしたか。

僕は「かおりさんが行くって決めたんです。
かおりさんには力があるんです。これからも
かおりさんが力を出せるよう、環境を整えて
いきましょう。お母さん」と言いました。

お母さんは、はらはらと涙を流していました。





なみちゃんの一言

- 子どもの持っている力に驚かされることはよくあります。いつ発揮されるのかもわかりません。
- だからこそ子どもの可能性を信じ、保護者の思いも大切に、保護者と一緒に待つこと、あきらめずにかかわっていくことが大切なのです。

お・し・ま・い



なみちゃん

ナレーション 浪岡美保
(北海道教育大学大学院 修了生)

イラスト 尾上樹里
(北海道教育大学 大学院生)